

市民提案型国際キャリアアップ事業実施レポート		作成日	2007年 7月 11日
主 題 (テーマ)	フランス、ボルドーワイン研修とパリ	氏 名	首藤 司

6/3(日) 大分 ボルドー ボルドー泊 6/8(金) シャンパーニュ パリ泊
6/4(月) シャトーめぐり ボルドー泊 6/9(土) パリ市内観光 パリ泊
6/5(火) シャトーめぐり ボルドー泊 6/10(日) パリ 中部国際空港 機内泊
6/6(水) ボルドー パリ パリ泊 6/11(月) 中部国際空港 大分着
6/7(木) ヴェルサイユ宮殿 パリ泊

ボルドーのシャトーめぐりでは、気候の穏やかさ、広大な畑、シャトーの歴史から来る威厳、畑の位置関係などを実際に目で見る事が出来た。サンテミリオンの歴史地区の世界遺産を肌で感じる事が出来た。

パリでは、町並みの美しさ、歴史を感じ取れた。レストランでの接客や、ホテルのサービスの良いところ、悪いところを含め、実感できた。ルーブル美術館、オルセー美術館、オランジェリー美術館、国立近代美術館では、歴史の古いものから近代のものまでを見ることが出来た。

ヴェルサイユ宮殿の豪華な建物、庭園、装飾品を見学し、歴史と文化の勉強をした。

シャンパーニュ地方の有名なシャンパンハウス(パイパーエドシック、モエエシャンドン)と、ランス大聖堂の壮大な建築を見学し、フランスの歴史、ワインの文化の勉強になった。

反省点

- ・ボルドーのシャトーは予約制の為、もっと早い時期に予約をしておくべきだった。
- ・現地の人々とのコミュニケーションをもっとするにはフランス語の勉強をしておくべき。
- ・現地のオプションツアーは高額なうえ、時間的な制約も多いため、自力で行った方が良い。
- ・一ヶ所でも星がつくレストランに予約をして行けばさらに勉強になったと思う。
- ・パリのホテルは金額だけにとらわれず、便利な場所を探した方が良かった。

所感

サンテミリオンではワインショップにて様々なワインを試飲し、店員とのコミュニケーションがとても楽しく思い出になった。歩き回って見たシャトーや畑も美しく疲れを忘れさせるものだった。この経験はこれからの業務において、素晴らしい財産になると思う。

パリのムーランルージュのディナーショーでは、狭いテーブルの間を動き回るギャルソン達はお客様の食事のスピードやドリンクの進み具合を良く見ていて、それを気づかれないように自然に振舞っているところは見習うべきところだと感じた。

ブログ <http://shuto.fruitblog.net/>

